高橋くら子 部落解放運動家。女性闘士で、全国的に活動するも、留置の際に得た病で、早世した。

たかはしくらこ

韓国反日暴動 1907 = 長野県の被差別部落に生れる。本名くらの。

明治天皇没 1912 = 5歳 :

民本主義 1916 = **9歳** :

原敬首相暗殺 1921 = 14歳 :

関東大震災 1923 = 16歳 : 県立小諸高等女学校在学中に、*長野県水平社が創立されるといち早く加わり、部落解放運動の女性闘士として活動。県内だけでなく各地の水平社演説会で熱弁を振る。北原二等兵事件には軍法会議構真贋告発ピラをまき、東京憲兵隊に検挙される。伊那電鉄争議、

治安維持法 1925 = **18歳** :

円本時代始 1926 = 19歳 : 臼田警察署差別事件にも活動する。

金融恐慌 1927 = 20歳 : *全国水平社第六回大会に県代表として参加、天皇直訴事件で検挙された北原泰作の家族救援を訴える。このため小諸署に留置される。

共産党事件 1928 = 21歳 : 上京し、同志川島松蔵と結婚、

満州事変 1931 = 24歳 :

帝人疑獄事件 1934 = **27歳** :

この間「婦人の自覚」「正義と人道の戦ひ」「姉妹よ団結せよ」などを新聞に発表した、

日中戦争始 1937 = 30歳 : 死別。郷里に帰るが、

総動員+健保 1938 = 31歳 : *小諸署留置中に得た病のため、3児を残し、没した。